

本年もどうぞ宜しくお願いいたします

12月のある日、早朝の校庭です。うっすらと霜が降りていました。芝の上を歩くと、サクッサクッと靴裏に心地よい響きが伝わってきました。寒さはこれからが本番ですね。



<1月になりました>

新しい年になりました。今年はどのような年になるのでしょうか。

新型コロナウイルスが流行ってから3年が経とうとしています。令和2年3月、学期途中で行われた全国的な臨時休業は新年度に入っても継続されました。その4月に入学してきた生徒たちが、この3月卒業します。多くの制限がある中での学校生活でしたが、できることに精一杯取り組んでいた様子、とても誇らしく思います。

卒業まで実質2か月ですね。一日一日を大切に、思い出を作ってほしいと思います。

<成人の日>

成人年齢が変わり、18歳からは大人の仲間入りです。

昨年の11月、知的障害教育部門3年生を対象とした出前授業が行われていました。卒業後に必要なことの一つ、身だしなみについて外部講師より学びます。この時期、2、3年生は進路選択、決定に向け、現場実習に出掛けました。社会で働く体験です。また、18歳以上は選挙権がありますので、昨年夏の参議院選挙前には、高等部全体で模擬投票の授業を行いました。高等部を通して、少しずつ大人として、社会人として必要なことを学んでいきます。

18歳になると、「もう大人なんだから」と言われることもあるでしょう。ふと周りを見ると、自分以外は立派に見え、しっかりしていないのは自分だけではないかと焦ってしまうことがありますね。緊張から逃げ出したい気持ちなのに、平静を装ってどんと構えて見せる、そんなことはありませんか。それはそれで必要なことかもしれません。しかしいつもでは緊張がもちませんね。

ちょっと背伸びをして少し先の未来を見た後は、自分自身の足元を見つめ、一歩ずつ前に進んでいってほしいと思います。

副校長 小川